

黄金期の浮世絵

歌麿とその時代展



青楼三美人

葛飾画筆

喜多川歌麿「青楼三美人」寛政4~5年頃(1792~93頃)

2020年2月1日(土)~3月29日(日) ※会期中無休

- 開館時間:午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 入館料:一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料
- 主催:公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
- 後援:中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送
- 監修:中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)
- 企画制作:NHKプラネット近畿、E.M.I.ネットワーク

【記念講演会】

2月23日(日) 午後2時~
「歌麿と周辺の絵師たち」
講師:中右 瑛
(国際浮世絵学会常任理事)

関連イベント


paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

E-mail office@paramitamuseum.com <http://www.paramitamuseum.com>

Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

パラミタミュージアム 検索

歌麿とその時代展



勝川春章
「四世若井半四郎の播巻と二世市川八百蔵の助六」
安永5年頃(1776頃)



東洲斎写楽「中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と
中村此蔵の船宿かな川やの權」
寛政6年(1794)



歌川豊国・歌川国満「鞍馬山見立花合戦 牛若丸」享和期(1801~04)



歌川国芳「梅の魁」文政期以降(1818以降)



喜多川藤庵「見立六歌仙」(肉筆画)享和~文化期頃(1801~18頃)



鳥居清長「当世遊里美人合 辰巳艶」天明2~4年(1782~84)



喜多川歌麿「名所腰掛八景 キヤマン」寛政中期(1795頃)

喜多川歌麿(1753?~1806)は、浮世絵における美人画を代表する絵師です。錦絵が最も華やかに展開した天明・寛政期(1781~1801)に活躍し、背景に雲母摺を施した豪華な錦絵や、寛政4年(1792)頃から描き始めた「美人大首絵」で注目を集めました。

歌麿はそれまでの全身像から、顔をクローズアップする構図を考案し、女性の表情を豊かに表しました。同時期に美人画とならんで人気を博したのが役者絵です。役者の一瞬の表情を大胆に表現した東洲斎写楽(生没年不詳)や、歌舞伎ファン理想をかなえた歌川豊国(1769~1825)らが登場しました。

本展では歌麿とその弟子をはじめ、鳥居清長や鳥文斎栄之、写楽、勝川派、歌川派など、個性豊かな絵師らによる美人画と役者絵約130点を展観します。肉筆画を含む黄金期の浮世絵の魅力をお楽しみください。

次回展示のお知らせ

2020.4.2(木)▶5.24(日) ルドゥーテ展 ~18世紀 植物画の世界~

18世紀、王妃マリー・アントワネットから「博物蒐集家付画家」に任命され植物画を描いたルドゥーテ(1759~1840)。フランス革命後はナポレオン皇妃ジョゼフィーヌがパトロンとなり、圧倒的な美しさを放つ作品を描き続けました。繊細で高貴な花々は、今もなお人々の心を捉えて離しません。本展では、ルドゥーテの「美花選」を中心に紹介します。

■お車をご利用の場合 / ○東名阪「四日市IC」より湯の山方面へ約6.5km ○新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備



公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
http://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

